
アイヌタイムズ第11号日本語版

エスペラント

Esperanto (Esperanto)

—世界中で話せるように作ったことば—

こんにちは!

私は、エスペラントを学んでいます。エスペラントは、色々な国の人(他の国の人と)争うことなく話し合いをするように1887年にポーランドのザメンホフという人が作ったことばで、色々な国の人、一緒につかうことばです。

しかし、私たち(エスペラントを話す人たち)は、他の言葉も大事にする者であります。

北海道には、「北海道-エスペラント-連盟」があります。「北海道-エスペラント-連盟」に所属する我々は、アイヌ語を大切にしたい方と思っています。

アイヌ語は、そこに宝がたくさん隠されているものです。アイヌ語は、常に生きているし、私たちが必要とするものです。アイヌ語はよい言葉であり、大切にしたい方だと思います。

それで、アイヌ語を多くの人に知ってもらうため、これから何が出来るかと思っています。

昔、知里幸恵が、カムイユカラを書き留めて、「アイヌ神謡集」を作りました。私たちはそれをエスペラントにしました。この本の名前は「アイヌイ ユカロイ」です。

北海道エスペラント連盟では、いろいろな国の人にアイヌ語を読んでもらうように、知里幸

恵の書いた本「アイヌ神話集」をエスペラントで書きました。

この本「アイナイユカロイ」の中には、一つのカムイユカラ『ボン オキキリムイ ヤイエユカラ「クツニサ クトゥンクトウン」』が入っています。そのカムイユカラには、アイヌ語のできる方（アイヌ語学者）である切替英雄氏のアイヌ語文法解説があります。

それは、私たちの作った本の上だけにあっては、インターネット上にもあります。

(<http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/jukaroj.htm>) [編註2]

これを、私たちは日本語で書きました。しかし、エスペラントで書いてもいます。

また、私は、アイヌ語を広く知ってもらう（たくさん聞いて、見てもらう）ために、色々なことをアイヌ語で表現すべき（話したり、書いたりしたらよい）と思っています。そのため、色々な文書をアイヌ語で書いたりしたいと思っています。

[横山 裕之] 沙流・千歳

編註2：11号で載っていたアドレスは誤りでした。関係各位にご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。 (<http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/jukaroj.htm>)